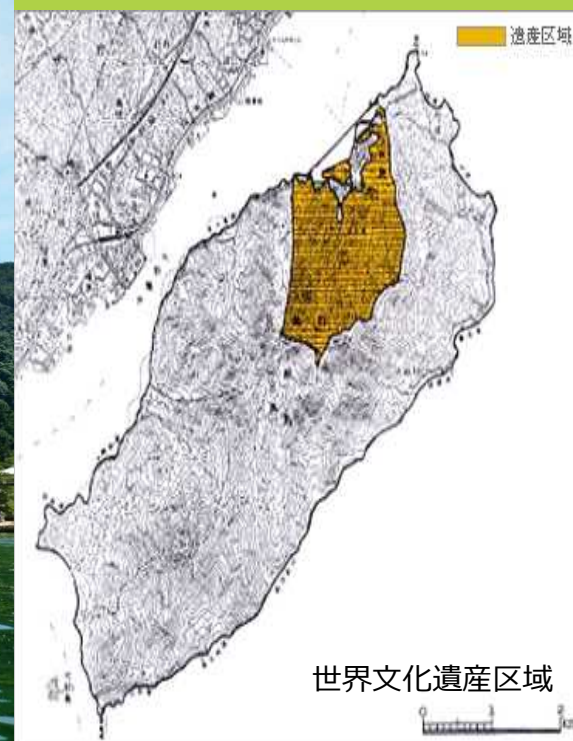


島そのものが  
信仰の対象だ  
神々が宿る島



撮影：新谷孝一



人と神々が共に生きる島

## 宮島の歴史

宮島は、太古からその山容に靈気が感じられたところから、周辺の人々の自然崇拝の対象となっていました。

厳島神社は、社伝によりますと推古元年（593）に佐伯部【さえきべ】の有力者であった佐伯鞍職【さえきくらもと】により現在の場所にご創建されたと伝えられています。

1400年の歴史を持つ世界文化遺産

## 厳島神社

平成8年12月、「厳島神社」が、ユネスコの世界遺産委員会で正式に世界文化遺産として登録されました。世界遺産として登録された区域は、社殿を中心とする厳島神社と、前面の海、及び背後の弥山原始林（天然記念物）を含む森林区域431.2ヘクタールです。厳島全域の約14パーセントを占める広い範囲にわたっています。

重さは60トン、その重みのみで立つ

## 大鳥居

国重要文化財・厳島神社の大鳥居は、木造で両部鳥居（四脚鳥居）です。高さ約16.6m、棟の長さ24.2m、主柱周り9.9m、総重量は約60t、木部は丹塗り、主柱は楠の自然木を、袖柱は杉の自然木を使っています。現在の大鳥居は、平安時代から8代目にあたり、明治8年（1875）に再建されました。



## あなごめし Anagomeshi

このアナゴは宮島と本土側の大野町との“大野瀬戸”でよく獲れ、カキなどと並ぶ、宮島の味の代表格として名を馳せています。宮島でも好んで釣る人が多く、サンマの切り身などで釣るとよく釣れるとか・・・

あなごの骨からとった出汁に味をつけて炊いたり、タレを染み込ませたりしたご飯の上に、じっくりと焼き上げた穴子を盛り付けた「あなご飯」。明治30年に開業した旧宮嶋駅の駅売弁当として生まれました。



## 宮島清盛まつり



宮島の繁栄の礎を築かれた平清盛公の遺徳を偲び、“平家一門の巖島神社参詣行列”をモチーフとした「清盛まつり」を行います。桜の開花も間近な春の宮島で清盛公一行の“平安絵巻”をお楽しみください。



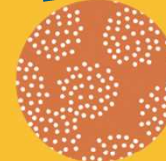
## もみじ饅頭



宮島の深く色とりどりに紅葉した楓は、多くの参拝者や観光客に喜ばれます。もみじまんじゅうは、「県花」でもあり、「宮島町の木」でもある紅葉を型取って造られたものです。

もみじまんじゅうを発売した人物は、明治後期の和菓子職人 高津 常助(たかつ つねすけ)とされています。紅葉谷にある旅館 岩惣 の女将から「大切なお客様への手土産に、紅葉谷の名にふさわしい菓子が作れないか」と依頼され、「紅葉形焼饅頭」を完成させました。

カステラ生地の中に「こしあん」を入れたものが一般的ですが、現在は60種類以上の味が楽しめます！



## みやじまぐち そぞろあるきマルシェ



西中国山地の豊かな自然から、瀬戸内海の恵み、守り続けられた歴史や文化といった多種多様な資源がある廿日市市。

そんな廿日市市の中でも、出会いをもとめて多くの人が行き交う宮島口でマルシェを開催することで、廿日市市や宮島口の持っているポテンシャルを多くの人に知ってもらい、楽しんでもらいたいと考え2016年10月からスタートしました。

